

★みんなにも知ってほしい！あんなことやこんなこと！！★

【南部療育センター及びあゆみ学園老朽化について】

療育を考える会では市議会議員のかたと話し、あゆみ学園の老朽化について告知し、建て替えの必要性があることを伝えてきました。対面した市議の方も実際にあゆみ学園をご覧になって老朽化が著しく目立つことを熟知しており、議会にて継続して議題として掲げて下さるとのことになっていました。その後、1月末に福岡市の子ども未来局の局長に「あゆみ学園の老朽化・狭あい化に伴う建て替えに関する要望書」を提出。現状については未来局局長も把握して下さっていたようで、施設の場所の公平性という観点でもご理解頂いているようです。あゆみ学園に通園している子どもさんの保護者の皆様に、建物の設備面で困っている事や、構造や老朽化に関するアンケートにご協力頂きました。ありがとうございます！！一部ですが、皆様にも実態を知ってほしいと思いご紹介したいと思います。

- ◎屋根がある部分が車1台しか横づけ出来ずに、雨の日の乗せおろしが大変。
- ◎玄関アプローチやトイレに段差があり、大変困難。
- ◎日中一時のための部屋がないため、狭すぎて子どもたちが自由に動けない。
- ◎手洗い場が非常に狭く、蛇口が1つしかない箇所もあり、混雑するし使いにくい。
- ◎下水管が詰まりやすく、温水が出てこない時期がある。

上記のアンケート内容はほんの一部にしかすぎず、まだまだたくさん改善したい事がある現状です。全体的な建て直しと時代に合ったバリアフリー化を早急に対処してほしいと切に願います！！

【福岡市で医療的ケア児モデル事業が拡大！】

2018年度では博多区公立保育園の千代保育所のみで、医療的ケア児の受け入れを行っていましたが、2019年度からはその他の公立保育園の3ヶ所でも実施されます。現在も行っている千代保育所は継続で、その他の園は、東区の香椎保育所、博多区的那珂保育所、西区の姪浜保育所の合計の4つの公立保育園での拡大となったようです。しかし、元の千代保育所は現在通っているお子さんを含め4名、2019年度からの新規園ではそれぞれ2名ずつの入所という人数制限があります。いつの日か『モデル事業』ではなく、確定で当たり前で、なお且つ一般の認可保育園や幼稚園でも入所可能になる日が来ることに期待が増すばかりです！！

【福岡県障がい福祉課のかたとの対談】

今年1月23日に療育を考える会事務局メンバーの数名と福岡県庁社会参加係の係長と対談しました。県が要請していた個人へのアンケート結果では見えてこない実情を知りたいという社会参加係からのご意見から、対談が実現しました。医療的ケアがある子どもさんの実態を知りたいという意見から、事務局メンバーがレスパイトに関する事を初め、その他の実情について伝える事が出来、非常に有意義でありがたい時間でした。

療育を考える会ホームページ



【進路を考える会では毎年陳情を行っています！！】

ぴよぴよ園・きらきら園・わかば園親子・めばえ学園親子の代表者さんで構成されている進路を考える会では毎年9月頃に、市に対して陳情を行っています。2歳親子通園の後で直面する進路に関する問題やその他を、要望(陳情書)としてまとめ市議会棟にて、市議立ち合いの元、こども未来局こども部こども発達支援課・子育て支援部・福岡市長に問題提起を行います。陳情の文書はとても素晴らしい内容で進路を考える会の皆さんに感謝ばかりです。子ども達のために本当にありがとうございます。